

廃棄物等 指定廃棄物に関する関係5県の状況

＜宮城県＞	＜栃木県＞	＜千葉県＞	＜茨城県＞	＜群馬県＞
市町村長会議（9回開催） [平成24年10月～平成28年3月]	市町村長会議（6回開催） [平成25年4月～平成26年11月]	市町村長会議（4回開催） [平成25年4月～平成26年4月]	市町村長会議（4回開催） [平成25年4月～平成27年1月]	市町村長会議（2回開催） [平成25年4月～平成25年7月]
平成25年 11月：第4回会議で宮城県の選定手法が確定 平成26年 1月：第5回会議で詳細調査候補地を3箇所提示 (栗原市深山嶽、大和田下原、加美町田代岳) 8月：第7回会議で県知事が市町村長の総意として詳細調査受入れ表明 8月：詳細調査を開始 現地調査については地元の反対により実施出来ず 平成27年 4月～10月： 県民向けフォーラム（3回開催）	平成25年 12月：第4回会議で栃木県の選定手法が確定 平成26年 7月：詳細調査候補地を1箇所提示 (塩谷町寺島入) 平成27年 5月～9月： 県民向けフォーラム（3回開催）	平成26年 4月：第4回会議で千葉県の選定手法が確定 平成27年 4月：詳細調査候補地を1箇所提示 (東京電力千葉火力発電所の土地の一部（千葉市中央区）) 5月～6月： 千葉市議会全員協議会で説明（2回） 6月～8月： 自治会や住民を対象に説明（計5回）	平成27年 4月：一時保管市町長会議 平成28年 2月：第2回一時保管市町長会議 現地保管を継続し、段階的に処理を進める方針を決定	
（参考）環境省の有識者会議 各県の市町村長会議と並行して、科学的・技術的な観点から、長期管理施設の安全性や候補地の選定プロセス等について議論（9回開催）[平成25年3月～平成28年3月] 環境省 第3回放射性物質に関する安全対策検討会資料より作成（平成27年11月）				

福島県以外については、特に指定廃棄物の保管状況がひっ迫している県では、長期管理施設を確保し、集約して管理することとしております。

関係5県（宮城県、栃木県、千葉県、茨城県、群馬県）においては、指定廃棄物の処理に向けた共通理解を醸成するため、各県において市町村長会議等を開催して意見交換を行ってきました。

市町村長会議等では、指定廃棄物を処理する施設の安全性や選定手法等についての議論を行い、宮城県、栃木県、千葉県においては、候補地の選定手法が確定しました。

その選定手法に従って、宮城県では3箇所、栃木県と千葉県ではそれぞれ1箇所の詳細調査候補地を提示し、現在、地元からいただいたご質問への回答や、住民説明会の開催等、丁寧な説明を行う努力を重ねているところです。

引き続き、施設の安全性等について地元の理解が得られるよう、こうした場を通じて、丁寧な説明に努めつつ、指定廃棄物の処理が進むよう全力で取り組むこととしています。

本資料への収録日：平成28年3月31日